

5年家庭科「生活を支える物とお金」

R4. 1 岡本

ねらい: 品物を購入するために値段や分量、品質など多様な観点から比較検討することができる。



【工夫した点・意図】

身近なものを購入するときの比較・検討の仕方を考えさせた。

購入に必要な様々な視点の情報を整理して、理由をはっきりさせて話し合わせた。

【学習の流れ】

- ①個人(書く)
- ②だんだんタイム(3人)
- ③だんだん発表(個人)
- ④個人で振り返り(書く)

【成果と課題】

- 自分なりの視点を決めて購入する品物を決めることによって、意欲的に自己決定することができた。
- 相手のことも理解しながら対話することができていた。
- いろいろな視点から買い物を考えることによって、多面的に考える力がついてきたと思う。

課題意識

○

対話の活発さ

◎

思考の深まり

スキルの習得

